

令和4年9月議会
決算特別委員会資料
(第2分科会)

① 【議案第80号】

令和3年度北九州市一般会計決算についてのうち所管分

② 【議案第90号】

令和3年度北九州市土地取得特別会計決算についてのうち所管分

・・・・・・・・P2～14

③ 執行の状況の点検及び評価について

・・・・・・・・P16～17

④ 令和4年度指定管理者の評価結果

・・・・・・・・P18

教育委員会

①【議案第80号】令和3年度北九州市一般会計決算についてのうち所管分
 <令和3年度歳入歳出事項別明細(一般会計):備考欄記載頁参照>

(歳入)

単位:円

款	項	目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額-予算現額)	備 考
教育委員会所管分 合計			25,994,957,000	20,551,839,017	20,053,407,625	498,431,392	4,087,958,000	△ 5,941,549,375	
17 使用料及び手数料			119,561,000	98,198,955	98,198,955	0	0	△ 21,362,045	事項別明細書 (26,27,30,31頁)
1 使用料			116,861,000	96,199,405	96,199,405	0	0	△ 20,661,595	
12 教育使用料			116,861,000	96,199,405	96,199,405	0	0	△ 20,661,595	
2 手数料			2,700,000	1,999,550	1,999,550	0	0	△ 700,450	
10 教育手数料			2,700,000	1,999,550	1,999,550	0	0	△ 700,450	
18 国庫支出金			14,296,448,000	13,456,716,986	13,456,716,986	0	1,061,258,000	△ 839,731,014	事項別明細書(32~39頁)
1 国庫負担金			10,720,337,000	10,737,265,574	10,737,265,574	0	8,086,000	16,928,574	
4 教育費国庫負担金			10,700,337,000	10,737,265,574	10,737,265,574	0	0	36,928,574	
5 災害復旧費 国庫負担金			20,000,000	0	0	0	8,086,000	△ 20,000,000	
2 国庫補助金			3,563,382,000	2,711,916,007	2,711,916,007	0	1,053,172,000	△ 851,465,993	
5 労働費国庫補助金			0	52,045,945	52,045,945	0	0	52,045,945	
12 教育費国庫補助金			3,563,382,000	2,659,870,062	2,659,870,062	0	1,053,172,000	△ 903,511,938	
3 委託金			12,729,000	7,535,405	7,535,405	0	0	△ 5,193,595	
7 教育費委託金			12,729,000	7,535,405	7,535,405	0	0	△ 5,193,595	
19 県支出金			2,573,000	55,431,964	55,431,964	0	0	52,858,964	事項別明細書(42~45頁)
2 県補助金			1,333,000	54,615,000	54,615,000	0	0	53,282,000	
9 教育費県補助金			1,333,000	2,572,000	2,572,000	0	0	1,239,000	
11 労働費県補助金			0	52,043,000	52,043,000	0	0	52,043,000	
3 委託金			1,240,000	816,964	816,964	0	0	△ 423,036	
9 教育費委託金			1,240,000	816,964	816,964	0	0	△ 423,036	

(歳入)

単位:円

款	項	目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額-予算現額)	備 考
20	財産収入		5,733,000	10,149,691	10,149,691	0	0	4,416,691	事項別明細書(46~49頁)
	1	財産運用収入	1,520,000	6,148,123	6,148,123	0	0	4,628,123	
		1 財産貸付収入	1,433,000	6,126,192	6,126,192	0	0	4,693,192	
		3 基金運用収入	17,000	3,931	3,931	0	0	△ 13,069	
		5 特許権等運用収入	70,000	18,000	18,000	0	0	△ 52,000	
	2	財産売払収入	4,213,000	4,001,568	4,001,568	0	0	△ 211,432	
		2 物品売払収入	4,213,000	4,001,568	4,001,568	0	0	△ 211,432	
21	寄附金		136,484,000	276,898,918	276,898,918	0	0	140,414,918	事項別明細書(48,49頁)
	1	寄附金	136,484,000	276,898,918	276,898,918	0	0	140,414,918	
		5 教育費寄附金	136,484,000	276,898,918	276,898,918	0	0	140,414,918	
22	繰入金		8,000,000	6,213,070	6,213,070	0	0	△ 1,786,930	事項別明細書(52,53頁)
	2	基金繰入金	8,000,000	6,213,070	6,213,070	0	0	△ 1,786,930	
		17 学校応援基金繰入金	8,000,000	6,213,070	6,213,070	0	0	△ 1,786,930	
24	諸収入		487,758,000	962,829,433	464,398,041	498,431,392	0	△ 23,359,959	事項別明細書 (56,57,60~67頁)
	1	延滞金加算金及び過料	5,403,000	4,313,362	4,313,362	0	0	△ 1,089,638	
		1 延滞金	5,403,000	4,313,362	4,313,362	0	0	△ 1,089,638	
	3	貸付金元利収入	414,950,000	888,238,317	390,206,925	498,031,392	0	△ 24,743,075	
		10 教育費貸付金元利収入	414,950,000	888,238,317	390,206,925	498,031,392	0	△ 24,743,075	
	6	雑入	67,405,000	70,277,754	69,877,754	400,000	0	2,472,754	
		3 違約金及び延納利息	0	115,000	115,000	0	0	115,000	
		4 雑入	67,405,000	70,162,754	69,762,754	400,000	0	2,357,754	
25	市債		10,938,400,000	5,685,400,000	5,685,400,000	0	3,026,700,000	△ 5,253,000,000	事項別明細書(68~71頁)
	1	市債	10,938,400,000	5,685,400,000	5,685,400,000	0	3,026,700,000	△ 5,253,000,000	
		12 教育債	10,928,400,000	5,685,400,000	5,685,400,000	0	3,022,700,000	△ 5,243,000,000	
		14 災害復旧債	10,000,000	0	0	0	4,000,000	△ 10,000,000	

(歳出)

単位:円

款項目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差(不用額)	備 考
教育委員会所管分 合計	81,900,665,000	73,020,629,086	4,205,483,000	4,674,552,914	
6款 労働費 計	118,460,000	104,088,945	0	14,371,055	
1 労働諸費	118,460,000	104,088,945	0	14,371,055	事項別明細書(146,147頁)
2 雇用創造事業費	118,460,000	104,088,945	0	14,371,055	・緊急短期雇用創出事業経費 104,089千円
13款 教育費 計	81,752,205,000	72,916,540,141	4,193,353,000	4,642,311,859	
1 教育職員費	51,276,267,000	49,664,086,955	0	1,612,180,045	事項別明細書(196～199頁)
1 職員費	51,276,267,000	49,664,086,955	0	1,612,180,045	・義務教育諸学校等職員給与費 44,037,536千円 ・教育委員会職員費 5,626,551千円
2 教育総務費	1,544,170,000	1,347,637,659	0	196,532,341	事項別明細書(198～203頁)
1 教育委員会費	17,483,000	16,874,819	0	608,181	・教育委員(5人)報酬 16,440千円
2 事務局費	372,010,000	347,850,331	0	24,159,669	・高等理容美容学校の経営継承に伴う学費差額補助金 75,000千円 ・私学振興経費 69,609千円
3 奨学費	302,635,000	215,796,123	0	86,838,877	・奨学資金貸付金 193,118千円
4 教職員人事費	739,724,000	667,004,079	0	72,719,921	・教職員給与支給関係事務経費 256,266千円
5 寄宿舎費	13,024,000	12,254,273	0	769,727	・学校寄宿舎管理運営経費 12,254千円
6 教育センター費	99,294,000	87,858,034	0	11,435,966	・特別支援教育相談支援事業経費 40,942千円
3 小学校費	15,288,150,000	10,858,911,446	2,595,949,000	1,833,289,554	事項別明細書(202～207頁)
1 学校管理費	4,729,536,000	4,631,102,994	0	98,433,006	・学校給食調理業務民間委託事業 1,298,404千円 ・標準運営費 1,005,993千円
2 教育振興費	1,052,432,000	941,059,104	0	111,372,896	・就学援助経費 548,968千円
3 学校整備費	9,506,182,000	5,286,749,348	2,595,949,000	1,623,483,652	・大規模改修事業 2,867,792千円 ・外壁改修事業 404,128千円
4 中学校費	7,607,171,000	5,840,604,957	1,252,208,000	514,358,043	事項別明細書(206～211頁)
1 学校管理費	2,646,331,000	2,588,480,537	0	57,850,463	・学校給食調理業務民間委託事業 674,390千円 ・標準運営費 576,221千円
2 教育振興費	1,427,510,000	1,223,638,399	0	203,871,601	・就学援助経費 487,008千円
3 学校整備費	3,533,330,000	2,028,486,021	1,252,208,000	252,635,979	・外壁改修事業 552,993千円 ・体育器具更新費 496,948千円

(歳出)

単位:円

款項目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差(不用額)	備 考
5 高等学校費	182,799,000	172,019,501	0	10,779,499	事項別明細書(210~213頁)
1 全日制高等学校管理費	149,515,000	144,073,935	0	5,441,065	・学校管理運営経費 40,402千円 ・学生寮管理運営経費 33,593千円
2 教育振興費	12,095,000	7,029,925	0	5,065,075	・外国語指導助手配置事業経費 5,317千円
3 学校整備費	21,189,000	20,915,641	0	273,359	・校舎改修経費 8,099千円 ・体育器具更新費 5,445千円
6 特別支援学校費	3,640,003,000	3,165,841,916	149,829,000	324,332,084	事項別明細書(212~217頁)
1 学校管理費	895,731,000	872,833,184	0	22,897,816	・スクールバス運行経費 543,693千円
2 教育振興費	64,072,000	33,221,439	0	30,850,561	・特別支援教育推進事業 7,880千円
3 学校整備費	2,680,200,000	2,259,787,293	149,829,000	270,583,707	・小池特別支援学校整備事業 1,807,677千円 ・小倉総合特別支援学校整備事業 247,936千円
7 幼稚園費	54,334,000	46,477,118	621,000	7,235,882	事項別明細書(216~219頁)
1 幼稚園管理費	37,226,000	33,270,272	0	3,955,728	・管理費 33,270千円
2 教育振興費	2,471,000	1,629,990	0	841,010	・心の教育推進事業経費 1,344千円
3 幼稚園整備費	14,637,000	11,576,856	621,000	2,439,144	・園舎改修費 4,704千円
8 専修学校費	19,541,000	12,307,743	0	7,233,257	事項別明細書(218,219頁)
1 専修学校費	19,541,000	12,307,743	0	7,233,257	・管理運営費 8,987千円
9 社会教育費	1,242,070,000	981,718,142	194,746,000	65,605,858	事項別明細書(218~223頁)
1 社会教育総務費	104,914,000	60,227,267	0	44,686,733	・コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業経費 20,898千円
2 図書館費	1,130,875,000	915,432,315	194,746,000	20,696,685	・図書館指定管理制度導入の委託料 397,955千円 ・黒崎副都心整備事業(図書館)経費 173,986千円
3 視聴覚センター費	6,281,000	6,058,560	0	222,440	・管理運営費 4,121千円
10 保健体育費	897,700,000	826,934,704	0	70,765,296	事項別明細書(222,223頁)
1 学校保健費	897,700,000	826,934,704	0	70,765,296	・学校医経費 275,405千円 ・児童生徒及び教職員の健康診断等経費 191,084千円
14款 災害復旧費 計	30,000,000	0	12,130,000	17,870,000	
5 教育施設災害復旧費	30,000,000	0	12,130,000	17,870,000	事項別明細書(224,225頁)
1 学校施設災害復旧費	30,000,000	0	12,130,000	17,870,000	

②【議案第90号】令和3年度北九州市土地取得特別会計決算についてのうち所管分
 <令和3年度歳入歳出事項別明細(土地取得特会):備考欄記載頁参照>

(歳入)

単位:円

款	項	目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額-予算現額)	備 考
教育委員会所管分合計			1,290,000,000	966,000,000	966,000,000	0	0	△ 324,000,000	
3 市債			1,290,000,000	966,000,000	966,000,000	0	0	△ 324,000,000	事項別明細書(332,333頁)
1 市債			1,290,000,000	966,000,000	966,000,000	0	0	△ 324,000,000	
1 土地先行取得債			1,290,000,000	966,000,000	966,000,000	0	0	△ 324,000,000	

(歳出)

単位:円

款	項	目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差(不用額)	備 考
教育委員会所管分 合計			1,290,000,000	966,000,000	0	324,000,000	
1款 土地先行取得費 計			1,290,000,000	966,000,000	0	324,000,000	
1 土地先行取得費			1,290,000,000	966,000,000	0	324,000,000	事項別明細書(334,335頁)
3 特別支援学校整備費			1,290,000,000	966,000,000	0	324,000,000	・小倉北特別支援学校等整備事業 (用地取得経費) 966,000千円

令和3年度決算 教育委員会 主要施策

I 時代を切り拓く力の育成

1 子どもひまわり学習塾事業

66,794 千円

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施した。

<実施小学校93校、実施対象中学校62校>

2 子どもの読書活動の推進

304,169 千円

「北九州市子ども読書活動推進条例」及び「北九州市子ども読書プラン」に基づき、子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、全中学校区及び特別支援学校に学校図書館職員を配置し、学校における読書活動を推進した。

また、「子ども図書館」を拠点として、市独自の「北九州市子ども読書の日」の新設など「北九州市子ども読書プラン」の各事業に取り組み、子どもの読書活動を推進した。

3 外国語教育の推進

382,558 千円

外国語教育を通じて、他者とのコミュニケーション能力の素地や基礎を養うため、ALTの効果的な配置等を行った。

小学校においては、英語に堪能で専門的な知識を有した日本人の指導助手（日本人ALT）を配置するほか、「話すこと」の力を育むため、一部の小学校で試行的にオンライン英会話学習を実施した。

中学校においては、イングリッシュコンテスト等を開催することにより、自ら発信し、世界で活躍、貢献できるコミュニケーション能力を育成した。

4 SDGs教育推進事業

4,783 千円

SDGs推進校を指定し、特色ある取組及び実践研究を行うとともに、その成果等を取りまとめて全市に発信し、SDGsの視点を踏まえた教育を拡大・充実させた。

また、新学習指導要領に示されている「持続可能な社会を創る担い手」の育成やシビックプライドの醸成を図るため、引き続きSDGsの視点を踏まえた地域教材を作成し、教科等の学習で活用した。

5 小中一貫教育検討事業

300 千円

本市の義務教育9年間を通じた教育活動を充実し、これまで取り組んできた小中一貫・連携教育をさらに推進するため、「北九州市小中一貫教育検討会議」を開催した。

6 小池特別支援学校整備事業

1,807,677 千円

西部地域における知的障害のある児童生徒の増加への対応及び老朽化した校舎等の狭あい化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の第1期改築工事を実施し、一部供用開始した。

7 小倉総合特別支援学校整備事業

247,936 千円

小倉総合特別支援学校の教育環境の充実を図るため、既存校舎の改修工事及び一部建物の解体を実施した。

8 小倉北特別支援学校等整備事業

一般会計分 55,551 千円

特別会計分 966,000 千円

(合計 1,021,551 千円)

校舎等の老朽化及び教室不足等の狭あい化等の課題を解消するため、小倉北特別支援学校及び北九州中央高等学園の移転建替えに係る用地の先行取得及び基本設計等を実施した。

9 「特別支援教室」設置事業

492 千円

通常の学級に在籍し、支援を要する発達障害等の児童生徒が、必要な時間に障害特性に応じた特別な指導を受けるための「特別支援教室」を全区（小倉北区、八幡西区の2区→7区）の小学校に設置した。

10 「特別支援学校配置看護師」の配置事業

6,316 千円

医療的ケアを必要とする児童生徒本人や保護者が安心して学校生活を送れるよう、日常的な医療ケア（経管栄養、酸素吸入等）を行うために、特別支援学校に配置している看護師を2名増員した。＜9名 → 11名 2名増員＞

11 スクールバス（新型コロナウイルス対策増車・令和3年度）運行委託事業

152,873 千円

特別支援学校のスクールバスでの新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、児童生徒の座席の間隔を空けて運行できるよう、所定便に加えて9台のバス増車を行った。

II 働きがいのある学校づくり

12 ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業

1,925 千円

教育の情報化の加速に伴い、研修や実践を通してICTを活用した指導力の育成を図った。また、オンライン型研修を充実させ、教師が子どもと向き合う時間を確保しながら、キャリアステージに応じた研修を体系的に整備し、すべての教員の資質・能力の向上を図った。

13 学校支援のための講師等配置事業

450,307 千円

学力向上や長期欠席・不登校対応など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、講師等を配置した。

14 学校における業務改善コンサルティング業務委託事業

4,994 千円

教育委員会と学校が一体となって取り組んでいる業務改善において、民間企業の業務改善に関するノウハウを積極的に取り入れることにより、学校単位での具体的な取組に着手し、新たな視点で業務改善を行った。

15 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置事業

191,103 千円

学校における業務改善の一環として、教員の負担を軽減し子どもと向き合う時間を確保するため、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を22名増員して配置した。＜116名→138名 22名増＞

16 部活動指導員の配置

11,644 千円

教員の負担軽減と部活動の振興を図るため、顧問教員に代わって単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」の配置時間を一部拡充するなど、部活動の環境整備を実施した。＜部活動指導員 28名の活動時間を拡充＞

Ⅲ 安心な学びの場づくり

17 「チーム学校」運営・推進事業

【スクールカウンセラー活用による問題行動等防止】

77,257 千円

長期欠席・不登校の児童生徒への対応や、いじめ・自殺などの諸問題の未然防止を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを全中学校区、特別支援学校、市立高等学校及び戸畑高等専修学校に配置した。

【スクールソーシャルワーカー活用による関係機関との連携支援】

79,434 千円

貧困や虐待・不登校等への対応など、児童生徒の問題行動の背景にある家庭等の問題に対し、関係機関との連携による支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーを配置した。

【スクールロイヤー活用による諸課題の解決】

3,300 千円

生徒指導上の諸課題等に対する相談対応や学校に出向いて法的助言を行うスクールロイヤーの活用を図り、子どもが安心して学校生活を送ることのできる環境を整えた。

18 SDGs 達成のための次世代型教育推進事業

7,530 千円

認知機能のトレーニング（コグトレ）による子どもの学ぶ意欲の向上を図ったほか、一部の小学校での授業における試行的なオンライン英会話の実施や、不登校の子どもに対するオンライン授業など、SDGs の理念に則り、多様な子どもたちの次世代型教育を推進した。

19 感染症対策のための衛生環境整備事業

13,155 千円

各学校における感染症対策や感染者対応等を徹底するため、継続的に必要となる手指消毒液や手洗い用石けん等の保健衛生用品を購入した。

IV 市民総ぐるみでの支援

20 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業

20,898 千円

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくために、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けた取組を進めた。

21 子どもひまわり学習塾事業 【再掲】

66,794 千円

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施した。

<実施小学校93校、実施対象中学校62校>

V 未来を見据えた環境整備

22 1人1台タブレット端末整備事業

510,556 千円

国の掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、令和2年度に整備した約74,000台の1人1台端末について、端末故障などに円滑に対応するため、2,085台を追加整備するとともに、新年度の学級数増に伴う無線アクセスポイント及び充電保管庫を追加整備した。

23 ICT活用支援事業

109,989 千円

1人1台端末等、学校のGIGAスクール構想の実現に向け、教員のICT活用指導力の向上と、1人1台端末の更なる活用を進めるため、GIGAスクールサポーターを配置するとともに、整備したICT機器を活用したオンライン学習に関する支援及び各種問合せを一元的に受け付けるヘルプデスクを設置した。

24 GIGAスクール構想の実現に伴う通信経費

28,950 千円

1人1台端末を活用した学校でのICT教育の充実化や、新型コロナウイルス感染症等による臨時休校時における家庭でのオンライン学習環境の支援を進めるため、必要となる通信経費を確保し、環境整備を行った。

25 学校施設老朽化対策事業

4,282,330 千円

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修（長寿命化改修）及び外壁改修などの老朽化対策や安全対策を実施した。

（主な事業）

■大規模改修事業：小学校8校、中学校1校

■外壁改修事業：小学校4校、中学校3校

26 学校トイレ整備事業

227,405 千円

児童生徒が利用する学校トイレの洋式化を推進するため、改修工事を計画的に実施した。

27 35人以下学級編制の拡充に伴う施設整備事業

52,308 千円

きめ細やかな指導体制の充実等の観点から、既に小学校1～3年生及び中学校1年生で実施している35人以下学級編制について、小学校は全学年に拡充するため、必要となる普通教室を整備した。

VI 図書館に関する事業

28 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

14,149 千円

折尾地区総合整備事業にともない移転する折尾分館について、施設整備を行い、引き続き仮移転先にて図書館業務を行った。

VII 新型コロナウイルス感染症対策関連経費

本市立学校における新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止対策として、密閉・密集・密接を避け、すべての子どもたちの学びを保障できる環境を実現するため、さまざまな事業を行った。

(主な事業)

■ICT活用支援事業 【再掲】 109,989千円

1人1台端末等、学校のGIGAスクール構想の実現に向け、教員のICT活用指導力の向上と、1人1台端末の更なる活用を進めるため、GIGAスクールサポーターを配置するとともに、整備したICT機器を活用したオンライン学習に関する支援及び各種問合せを一元的に受け付けるヘルプデスクを設置した。

■修学旅行支援事業(行程変更料支援)

(9月補正、12月補正) 27,338千円

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、修学旅行の行程を変更した市立学校の行程変更料(企画料相当額)について全額補助を行い、保護者の負担軽減を図った。

■児童生徒等への感染拡大防止のための啓発事業 44,787千円

(9月補正)

感染症予防に最も効果のある不織布マスク及び啓発チラシを配布し、感染拡大防止のためのマスクの効果や正しいつけ方について啓発を実施した。

■市立学校におけるPCR検査事業 94,304千円

(9月補正)

特別支援学校の児童生徒や教職員、基礎疾患を持つ児童生徒、宿泊を伴う学校行事等に参加する児童生徒を対象としたPCRのスクリーニング検査を行い、クラスター発生の未然防止や感染拡大防止につなげ、安心した学校運営を行えるよう支援を実施した。

■市立学校等における緊急雇用対策事業 104,089千円

(予備費)

緊急事態宣言の発令及びその延長に伴う時短営業等の影響により、離職を余儀なくされた労働者等を市立小中学校等の新たな学校業務補助員として配置し、臨時の雇用を創出した。

■スクールバス（新型コロナウイルス対策増車・令和3年度）

運行委託事業 【再掲】

152,873 千円

（繰越明許費）

特別支援学校のスクールバスでの新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、児童生徒の座席の間隔を空けて運行できるよう、所定便に加えて9台のバス増車を行った。

■感染症対策のための衛生環境整備事業 【再掲】

13,155 千円

（繰越明許費）

各学校における感染症対策や感染者対応等を徹底するため、継続的に必要となる手指消毒液や手洗い用石けん等の保健衛生用品を購入した。

このページは空白です

③ 北九州市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
 <報告第31号 参照>

ビジョン (vision)		ミッション (mission)		評価		ミッションに基づいた重点的な取組(施策)
本市学校教育の目標		本市が一丸となって取り組まなければならないミッション		R2年度	R3年度	
<p>【目指す子どもの姿】◎自立し思いやりの心をもつ子ども／◎新たな価値創造に挑戦する子ども</p> <p>◎本市に誇りをもつ子ども(シビックプライド)</p>	<p>【目標達成に向けた取組方針】学校、教職員と教育委員会は互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組を進める。</p>	《mission1》時代を切り拓く力の育成 新学習指導要領に対応し、学校マネジメントの充実を図るとともに、児童生徒が本市に誇りを持ち、新たな時代を切り拓く力を育成する。	—	B	1 確かな学力の育成	
		—	—	2 健やかな体の育成		
		—	A	3 豊かな心の育成		
		C	C	4 特別支援教育の推進		
		A	A	5 大量退職・採用時代における教員の資質向上		
		A	A	6 学校における業務改善の推進		
		C	C	7 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応		
		A	C	8 児童生徒等の安全の確保		
		—	B	9 家庭・地域・学校の連携		
		B	B	10 社会的・経済的な課題への対応		
		B	B	11 教育環境の整備		
		B	C	12 学校施設の整備		

アクション (action)

主な取組	各施策を推進するための個別計画・方針等
(1)学校マネジメントの充実 (2)学力の向上 (3)学校における読書活動の推進 (4)英語教育の推進 (5)本市の特色を活かした教育活動の推進	新・北九州市子ども読書プラン
(1)体力の向上 (2)学校における食育の推進 (3)健康の保持 (4)スポーツに親しむ機会の充実	北九州市学力・体力向上アクションプラン(第2ステージ)
(1)道徳教育・文化芸術に触れる機会の充実 (2)人権教育の推進	《参考》他部局の分野別計画 北九州市スポーツ振興計画
(1)相談支援体制の整備 (2)特別支援教育を推進する体制の充実 (3)就労支援 (4)理解促進	《参考》他部局の分野別計画 北九州市文化振興計画
(1)人材の確保 (2)人材の育成・資質の向上 (3)女性活躍推進	北九州市特別支援教育推進プラン
(1)業務改善の推進 (2)適正な部活動の推進	北九州市教育委員会人材育成基本方針
(1)長期欠席(不登校)への対策 (2)いじめ等問題行動への対応 (3)専門人材の配置・活用	《参考》他部局の分野別計画 第4次北九州市男女共同参画基本計画
(1)防災・減災教育の推進 (2)重篤な事故の防止 (3)食物アレルギー事故及び感染症等の防止	学校における業務改善プログラム(第2版)
(1)家庭との連携 (2)地域との連携	北九州市いじめ防止基本方針
(1)子どもの貧困など経済的な課題の対応 (2)社会的な課題への対応 (3)早期からの生活習慣の確立と小学校教育への円滑な接続	《参考》各学校で策定 学校安全計画
(1)教育の情報化推進 (2)学校規模の適正化	《参考》他部局の分野別計画 北九州市生涯学習推進計画
(1)安全で快適な学校施設の整備	《参考》他部局の分野別計画 元気発進！子どもプラン(第2次計画)
	北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方
	北九州市学校施設長寿命化計画

教職員支援プロジェクト「一人にさせない」チーム学校体制づくり

④ 令和4年度指定管理者の評価結果について

指定管理者の管理運営に対する評価一覧

評価別	指定管理者	施設概要	指定期間	評価期間	評価ランク (評価点)
多段階評価 (選定前)	(株)日本施設協会	門司図書館 (2分館を含む)	H30.4.1 ～ R5.3.31	H30.4.1 ～ R4.3.31	C (65点)
多段階評価 (選定前)	(株)日本施設協会	戸畑図書館	H30.4.1 ～ R5.3.31	H30.4.1 ～ R4.3.31	C (67点)

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)